

試合No.	B2	大会名	令和4年度 第33回関東高等学校バスケットボール新人大会									
		期 日	令和5年2月12日(日)			会 場	小田原アリーナ					
男子2回戦	CC	安藤 俊明	U1	本間 竜也	U2	小宮 颯太						
チーム名				1Q	2Q	3Q	4Q	OT1	OT2	Final Score		
宇都宮工業(栃木)				12	14	18	18			62		
実践学園(東京)				12	15	19	8			54		

宇都宮工業(栃木)

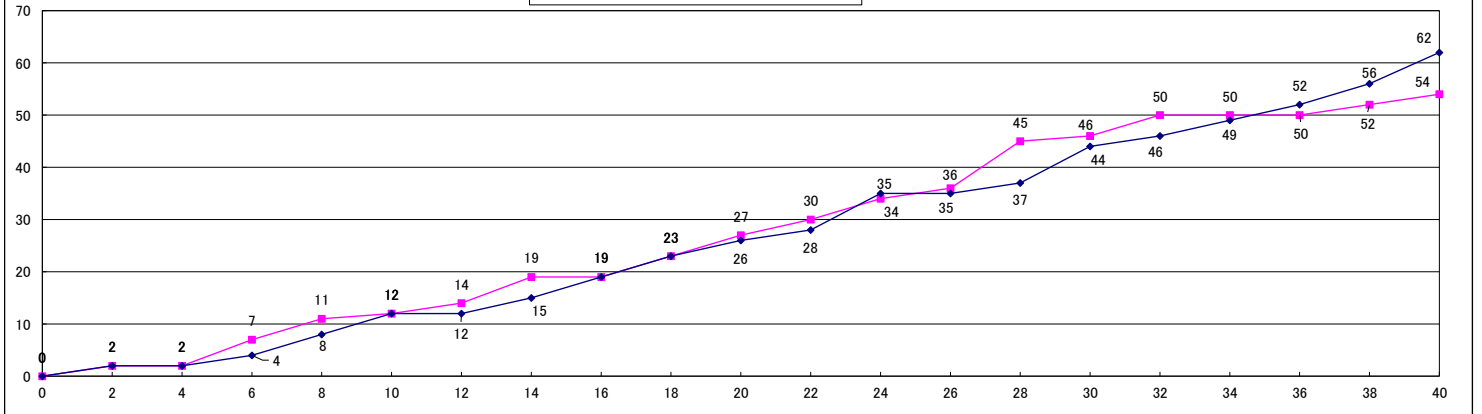
氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR						
大谷 鴻太(CAP)	* 4	15	3	15	20%	2	5	40%	2	3	67%	0	3	4	1	0	2	1	
佐藤 壮流	* 5	4	0	1	0%	1	3	33%	2	2	100%	0	5	4	1	1	2	1	
山川 大翔	* 6	8	1	4	25%	2	5	40%	1	2	50%	0	3	1	1	0	4	2	
石川 晃希	* 7	24	0	0		10	16	63%	4	6	67%	2	17	3	3	0	2	2	
寺内 幸成	* 8	11	0	1	0%	5	6	83%	1	2	50%	2	3	0	1	0	0	2	
大里 知輝	9																		
田辺 真之介	10																		
櫻井 千尋	11																		
小平 陸斗	12																		
高野 莉玖	13																		
檜山 大空	14																		
平田 晃聖	15																		
富田 大翔	16																		
川邊 璃音	17																		
松本 楽生	18																		
コーチ 高崎 徹																			
合計		62	4	21	19%	20	35	57%	10	15	67%	4	31	12	7	1	10	8	

実践学園(東京)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F	
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR						
雪竹 晴太	4																		
北川 堅資	6	2	0	1	0%	1	1	100%	0	0		0	2	0	0	0	0	0	
金谷 諒平	11																		
渡邊 颯太	* 14	9	1	4	25%	3	6	50%	0	0		0	1	1	2	0	2	3	
江川 晴	* 15	11	0	7	0%	5	12	42%	1	2	50%	3	6	0	1	1	1	4	
浅岡明日蘭	22																		
佐藤 琉琥	32																		
南澤 空(CAP)	* 37	25	3	10	30%	8	16	50%	0	2	0%	1	3	3	5	0	3	3	
土山 瑛人	42																		
山本 真司	45																		
平岡 拓篤	49	2	0	0		1	2	50%	0	0		1	0	0	0	0	1	1	
鈴木 宙仁	73	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	
高橋徳乃心	* 79	5	0	1	0%	2	8	25%	1	2	50%	3	5	2	6	0	5	3	
山下 巧稀	* 81	0	0	0		0	3	0%	0	0		2	2	0	1	0	2	3	
武井 春磨	82																		
コーチ 高瀬 俊也																			
合計		54	4	23	17%	20	48	42%	2	6	33%	10	19	6	15	1	14	17	

得点経過

■ 実践学園(東京) ◆ 宇都宮工業(栃木)



戦評

1Q 両チームともにマンツーマンでスタート。宇都宮工業は#7のポストプレイで得点。対する実践学園は#37のゲームメイクから多彩にシュートチャンスを伺う。互いにリズムがつかめなまま5分経過。宇都宮工業が速攻を繰り出し、リズムの良い合わせて得点を重ねていく。実践学園も粘り強いオフェンスリバウンドでつないでいくが、アウトサイドが決まらない。その後も重い展開が続き12-12で1Q終了。

2Q 両チームともディフェンスは変わらず2Qスタート。両チームともインサイドを軸にオフェンスを展開していく。2Q開始3分で実践学園がタイムアウト。タイムアウト明け、宇都宮工業が2-2ゾーンプレスから3-2ゾーンで仕掛ける。積極的なディフェンスから流れを掴んだ宇都宮工業は、#4の3ptsで18-19の一点差に迫る。実践学園は、宇都宮工業のチェンジングディフェンスを攻めあぐね、なかなか得点が決まらないが、終盤#4の個人技が連続で決まり26-27で2Q終了。

3Q 後半、実践学園は2-3ゾーン。対する宇都宮工業は前半同様にマンツーマン、ゾーンプレス、ゾーンを織り交ぜたチェンジングディフェンス。両者譲らない展開の中、リバウンドで強さを見せる宇都宮工業#7が着実に得点していく。実践学園も#4が冷静なプレスダウンとゲームメイクで加点していく。3Q残り3分、宇都宮工業はターンオーバーが続き、連続得点されたところで宇都宮工業たまたまタイムアウト。タイムアウト明け、実践学園は1-2-2ゾーンプレスで仕掛ける。宇都宮工業も激しくプレッシャーをかけ譲らない展開。44-46実践学園がリードして3Q終了。

4Q 両チームともディフェンスは変わらずスタート。開始早々、実践学園#4の個人技が光る。宇都宮工業も負けじと#4が連続3ptsで突破口を開く。実践学園はゾーンプレスに対するボール運びでターンオーバーが増えてしまう。インサイドで存在感を見せる宇都宮工業#7がフリースローで着実に加点し、その後も一進一退の点の取り合いが続く。終盤、タフショットが多くなった実践学園に対し、宇都宮工業は落ち着いてボールムーブしてチャンスを掴む。最後は、宇都宮工業#4と#5が落ち着いてフリースローを沈めて勝負あり。62-54で宇都宮工業が勝利した。